

銀杏学園 同窓会だより

平成元年度

理事長就任の 御挨拶



財団法人化学及血清療法研究所所長
野中 實男

思いがけなくも名誉ある銀杏学園の理事長の職に就くことになりました。これまで理事長、学長は同一人でありました銀杏学園において理事長、学長が別人であるという事になりましたのは昭和五十九年六月のことです。「夫々の責任ある立場で学園の発展に大きな進展をもたらすであろう」と期待されましたが、事半ばにして前理事長市原先生は辞職されることになりました。先生の御意志は化血研が学校の経営に責任をもつべきであるというようにお伺いしました。私としては上野学長に理事長をお引き受け頂いて昔通り理事長学長一体の銀杏学園に帰って貰ったらと思いましたが事態はそうに進まず、理事長を引き受けることになりました。

お引き受けしました以上は、学長に協力して学園の発展のために出来る限りの努力をしなければならぬと固く心に誓っています。学校、特に私立大学は途中で廃絶することがあってはなりません。

そのためには常に発展への気構えを忘れてはならないと思います。勿論大学の基本はどのように立派に学生を教育するかということにあります。大学に於ては教育の実が上らなければ経営などある筈がありません。

しかし、立派な教育を中核にして、大学を永続発展させることもまた大事なことであります。

自分の出身大学がもはや無くなっているという事になったら、同窓生として何とも言いようのない淋しさを感じると思います。

銀杏学園を如何にして発展させていくか、これが私共に課せられた大きな課題であり、この達成のために何をしたらいいのか誠に大きな問題が頭上にあります。

同窓生の皆様に絶大の御支援をお願いする次第であります。

お願いを申し上げて銀杏学園理事長就任の挨拶とさせていただきます。

楽之



銀杏学園短期大学学長
上野 直彦

平成元年は、母校の30周年記念という目出度い節目に当り、お陰様で無事式典を挙行出来ました。その概要は記念誌としてお手元に届くと思います。また、松原先生は、長年に亘る地域活動の功績によって、名譽ある熊日賞を受賞されたし、林田・藤井・古閑の三氏は、医療功績者として、県知事表彰の栄に輝かれました。心からお祝申し上げます。

同窓紙への寄稿となると、毎回同じ事ばかりですので、今回は道楽を考へてみます。この言葉を聞けば、先づ、道楽息子とか道楽者といった、酒色や賭博などに耽ける身持の良くない事を思浮べるでしょう。でも、一方では、仏道修行に専念して、悟の法悦を楽しむといった意味もあるそうです。言葉には複数の義があり、前後関係からとる要があります。

とに角、一般に道楽とは、本職以外の道に耽り楽しむことでしょう。耽るとは、度を越して或る事に専心することです。物好きで、並外れた者でなければ出来ないことです。所で私の道楽ですが、それは軍事極秘です。只、私も物好きですが、三日坊主の為に、何をやっても旨くいきません。道は遠く限がありません。朝に道を聞かば、夕に死すとも可なりと昔の人は言いましたが、どの道でも極められませんか、死ぬわけには参りません。

想うに、道楽は本職と違つて、束縛もなく、疲れたら休めるので、ストレス解消には最上でしょうが、歯止めも忘れてはなりません。私

は本業即道楽だつたらと思います。専門馬鹿という語があります。専門の道は、謂わば、千仞の谷の一本橋の様なもので、そこに一条の綱でもあつたら安心でしょう。この綱こそ専門外の事です。私の先生は非常に物好で、大工や左官の仕事にも見とれておられました。どの職業にも共通点があり、先生はそれを本業に生かされておられたのです。

同窓生の皆さん、元気で、本業を楽しんで下さい。御健闘を祈ります。



会長辞任の挨拶

医技専3期 藤井 勝

同窓生の皆さんには益々御健勝のことと拝察申し上げます。さて、今年度の第一回評議員会における役員改選におきまして、このたび会長を辞任することになりました。私は前会長の二〇年間という立派な業績のあとをお引受けして、早いもので八年が経過いたしました。振り返ってみますと、現在の同窓会の発展がいかに大き

会長交替



く成長してきたかがわかります。これも偏に会員及び役員の方々、大学当局の御協力、御援助のおかげと深く感謝し、あらためて八年間私を支えて下さった皆様に、お礼を申し上げます。現在会員数も二千名を越えています。その組織をいかにうまくまとめ、運営して行くかが今後の課題となりましょう。新会長はそれ

新会長挨拶

会員諸氏には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、この度、前会長藤井勝氏の後を引継ぎ、同窓会長の重責をお引受けすることになりました。私は会長という責任ある地位に相応しい人格者でもなく、また、多くの優秀な諸先輩を差し置いて就任するについては非常に恐縮の至りでありますが、会員諸氏のご助力のもとに微力ながら努力して行きたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

本会は初代会長沢渡勝己氏、前会長藤井勝氏のお二人が、会員名簿や同窓会便りの発行、技術講習会開催等、地道に献身的な努力をされて今日に至っている歴史がありますので、基本的にはその流れを継承して行きたいと考えており

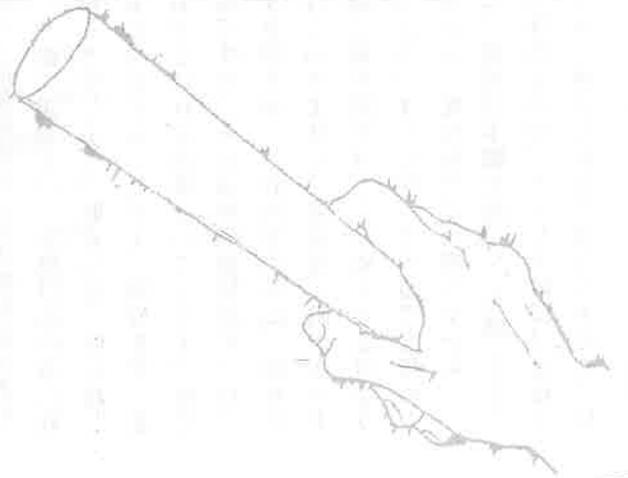
ができる有能な人です。会員の皆様一致団結して新会長を盛り立て、益々立派な銀杏学園短期大学同窓会となりますよう御協力をお願い致します。会長辞任の挨拶といたします。

医技専5期 梅橋 豊蔵

ます。

銀大も前身の医技専から三〇年の歴史を積み重ね、去る平成元年五月に記念式典も開催されました。一方、同窓会員も二千余名を数えるまでに至り、会員把握の難しさもさることながら、毎年開催している技術講習会についても真剣に再検討が必要な時期である様な気が致します。本会では、その活動資金源である会費を、従来の年会費、五〇〇円から、終身会費として一括五、〇〇〇円納入する形に

三年前から変更致しましたが、その終身会費の納入率が未だ三割強しかないという状態です。現状では、今後の会員名簿発行配付等の際に限定せざるを得ない様な状態となつて来ておりますので、未納の方は、同窓会の円滑な運営の為



にも、また、末永く会員同志のふれあいの窓口を設けておく為にも、是非会費納入を宜しくお願い申し上げます。案内にもあります様に、第十七回技術講習会も一月二十日開催すべく準備中ですので、諸兄の積極的な参画をお願い申し上げます。末尾ながら、会員諸兄のご健勝を祈念しますと共に、本会運営に對しても忌憚のないご意見をお聞かせ戴きたく重ねてお願い申し上げます。次第です。

九州屈指の私立医療短大 銀杏学園短期大学

深い教養と人間性に富む医療技術者を育成する短大



学長 医学博士 上野直彦



■衛生技術科(男女).....(3年制) 100名 (臨床検査技師育成)

- 入試科目 ●数学Ⅰ・Ⅱ●英語Ⅰ・Ⅱ●理科Ⅰ、物理・化学・生物のうち1科目 面接、健康診断
- 特 典 臨床検査技師国家試験受験資格取得
- 就 職 医療機関・研究所など就職、卒業後も就職斡旋

■看護科(進学課程・男女)(2年制)40名 看護婦(士)育成

- 入試科目 ●数学Ⅰ●英語Ⅰ●看護一般
- 面接、健康診断
- 特 典 看護婦(士)国家試験受験資格取得

■入試日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期日
衛生技術科	推薦 (20名)	11月20日 11月30日	12月8日	12月14日
	一次募集 (70名)	1月5日 1月24日	2月2日	2月9日
看護科	推薦 (5名)	11月20日 11月30日	12月8日	12月14日
	一般 (35名)	1月5日 1月24日	2月2日	2月9日

募集要項 〒1,000円(小為替又は切手)学生部教務課(配布中)

銀杏学園短期大学

〒860 熊本市清水町大窪819番地
電話 (096)344-7611代表

松原高賢先生熊日賞、 林田寿幸先生知事表彰を受けられる！

松原高賢客員教授は熊本大学で臨床病理学・血液学を研究、造血ホルモン「エリスロポエチン」の純粋分離法を完成。また「モグロビン」及び血清鉄測定国際標準法を完成WHOに採用されるなど、世界的に貢献されると共に、県内の臨床検査施設の整備技術育成に尽力された功績により、熊日賞を受賞されました。また、林田寿幸血清学講師（現熊本県技師会長）は、地域住民の医療及び公衆衛生の普及向上並びに健康の確保への功績が認められ、医事功労者として知事表彰を受けられました。



た。松原先生は昨年の柴田賞に続く受賞。お二方の受賞を心からお祝い申し上げます。尚、祝賀会は去る11月11日ホテルキヤッスルで盛大に開催されました。

第17回

技術講習会のご案内

寒気いよいよ厳しい折、同窓生の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。医療業界の第一線で多忙な日々を過ごされていると思います。同窓会も無事三十周年行事を終え、会としても成熟期に入ってきて来ると思っています。その一環として、恒例となりました臨床検査技術講習会をプログラムのとおり、開催を計画しています。今回は、専門的立場からの教育講演を熊大医学部講師 山口一成先生に「レトロウイルス感染症」について講演をお願いしました。また、毎回好評をい

ただいっている文化講演は、テレビ熊本社長で、元熊本市市民病院院長の河津龍介先生に御願いました。先生は、日本細胞学会の指導医として、同窓生で細胞診の指導を受けられた方も多数おられると思います。今回も興味ある講演を、と計画いたしましたので、ご多忙とは思いますがお誘い合せの上多数の参加を御願います。

同窓会の諸先生へ

银杏学園短期大学
学生部長
磯部 親則

つい先日、学生部長になったばかりです。従ってまだ何もわかりませんので思いっくままに近況報告からいたします。

もう一年になりますか、年度のはじめ市原理事長が勇退されて後任に野中実男博士（化血研所長）がなされました。ついで四月一日付で佐々木隆博士（熊大生理教授）と道家直博士（熊本県衛生研究所長）が教授として参られました。技術科長は有松博士、看護科長は本田博士に変わりありません。

見知り遠足、体育祭、花火大会、夏休み、前期試験、学園祭とすみました。途中の五月、同窓諸先生の協力、めでたく創立三〇周年が挙行されました。この中の花火大会では、グラウンド、ピンポン室で、カラオケまじえて翌朝の五時四十五分までのさわぎに近所から苦情がきました。早速、高木事務長方々と謝りに行きました。元気があっていいと思っています。加えて学園祭また例年になく盛会でした。

野ライン」の下、上野学長のバック・アップです。その上で学生会館、体育館、学園の国際化に伴い留学生の受け入れ、売店などがあります。といっても一つとして簡単なものはありませんので、せめて私の在任中に気運だけでも願っています。将来、四年制の問題も必ずおこるでしょう。

こうして、あれこれと银杏学園短期大学の近況ばかり書きましたが、同窓会の諸先生にも、お願いがあります。それは昨年の七月、鹿児島市同窓会に出席しましたが、招待あれば遠近に抱らず参列いたします。結婚式もです。そして友情を深めたいと思っています。

同窓会の諸先生、在学当時は二言目には「勉強」、三言目には「出欠がどうのこうの」で嫌な思いでもあったでしょうが、さらっと水に流して、いつまでも银杏学園短期大学の発展を応援して下さいませよう、お願いいたします。

化血研 免疫化学及血清療法研究所
熊本県熊本市東区大塚668-1
Phone 096-344-1211 Fax 096-345-1345

The Chemo-Sero-Therapeutic Research Institute

<h4>免疫血清検査試薬</h4> <ul style="list-style-type: none"> ★B型肝炎関連 <ul style="list-style-type: none"> セロクリット-HBs セロクリット-抗HBs セロクリット-抗HBc ★梅毒関連 <ul style="list-style-type: none"> セロクリット-TP RPRテスト[®]化血研[®] ★甲状腺自己抗体関連 <ul style="list-style-type: none"> セロクリット-TG セロクリット-MC ★腫瘍マーカー <ul style="list-style-type: none"> セロクリット-AFP ★ヘルペス関連抗体 <ul style="list-style-type: none"> ファッセイ-HSV ★代謝異常 <ul style="list-style-type: none"> クレチン症スクリーニングキット[®]化血研[®] 	<h4>血液凝固関連試薬</h4> <ul style="list-style-type: none"> デプリートVIII デプリートIX デプリートX コンプリート 	<h4>精度管理用血清</h4> <ul style="list-style-type: none"> ネスコールX ネスコールXA セラクリアN セラクリアNA セラクリアLP セラクリアE 	<h4>生化学検査試薬</h4> <ul style="list-style-type: none"> ★用手法用 <ul style="list-style-type: none"> ネスコートVAキット-S ネスコートIgGキット-N ネスコートIgAキット-N ネスコートIgMキット-N ネスコートC3キット-N ネスコートC4キット-N ネスコートBLキット-S ★自動分析機用 <ul style="list-style-type: none"> ネスコート-V1シリーズ ネスコート-V2シリーズ ネスコート-V3シリーズ ネスコート-V5シリーズ 	<h4>生物活性試薬</h4> <ul style="list-style-type: none"> アブソープG PT FHA コルトックス インフルエンザ診断用抗原[®]化血研[®] 日本脳炎診断用抗原[®]化血研[®]
<h4>血液型判定用試薬</h4> <ul style="list-style-type: none"> クームス血清[®]化血研[®] グリーンクームス血清[®]化血研[®] 抗ヒトIgG血清[®]化血研[®] 抗ヒト補体(C3b.C3d)血清[®]化血研[®] 				